

救急病院の安易な利用が医師不足の原因の1つとも言われています

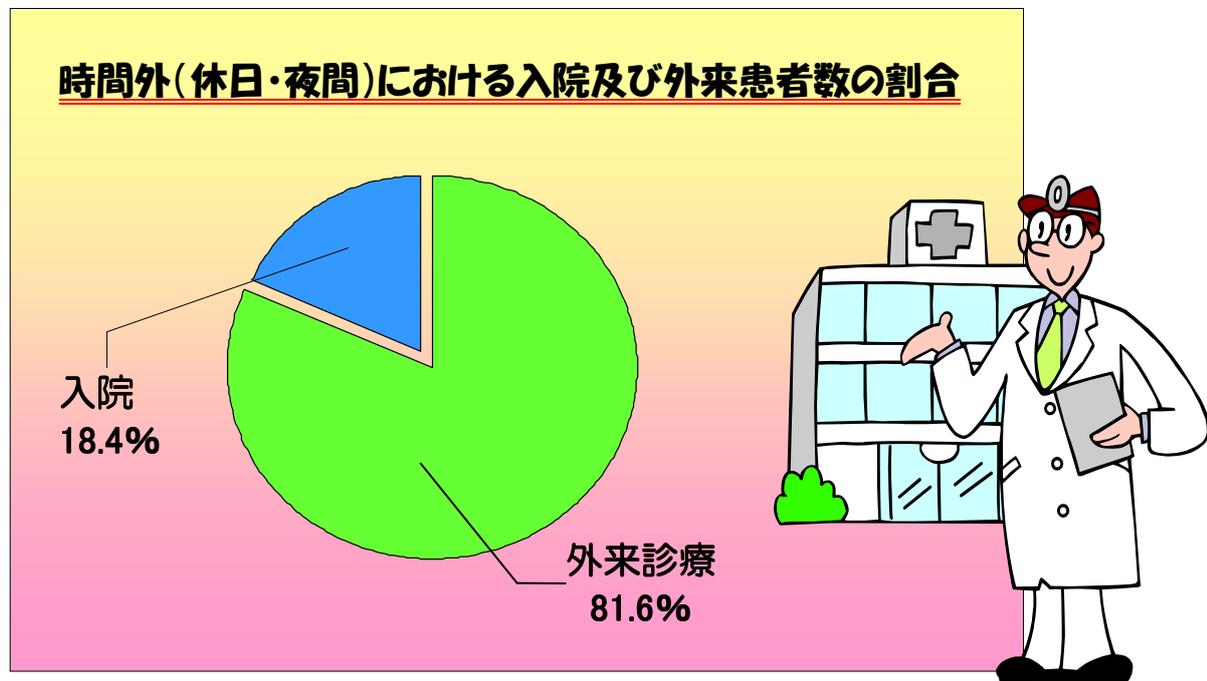
下のグラフは、東三河のある病院における診療時間外の患者数を調べたものです。

休日や夜間の時間外に救急で受診した方は10,349人でした。

しかし、約8割の方が入院せずに済みました。

入院の必要がなかった方すべてが救急を受診する必要があるとは限りませんが、軽症の方が救急を受診してしまうと、本当に必要な処置が遅れてしまうことがあります。

また、時間外の救急は少人数の医師が長時間の勤務の中で対応しているので、軽症の方がコンビニに行くような感覚で受診する方が増えると、医師の負担が増し、病院を辞めてしまうことも考えられます。そして、救急病院の受け入れ制限などを招くことにもなってしまいます。



資料：東三河平坦部患者動向調査より（平成19年度 豊橋市内A病院を調査）

軽い症状でもコンビニエンスストアに行く感覚で時間外に救急を受け持つ病院で受診する

「コンビニ受診」をやめることが

みなさんの命と地域の医療を守ります。

◆診療時間内に受診しましょう◆

- ◆症状の軽いうちに、できるだけ診療時間内に受診することで、適切な診療を受けられます。
- ◆すぐ治るだろうとがまんしたり、忙しいからと受診しないしていると症状がひどくなり、かえって医療費が高くなってしまうこともあります。